

よしき新聞

第14号
発行・編集
岡村よしき後援会
佐倉市中志津6-15-17
TEL043(488)0229

9月議会の報告!

少子問題・食育・観光・景観

観光振興の推進

問「千葉県のちばDC（デステイネーションキャンペーン）を実施すると聞いた。これは、JRグループ6社とタイアップして明年2月～4月に全国規模で千葉の広報宣伝を行うとともに、各旅行会社はJRと連携して多くの観光客が千葉を訪れるよう努め、千葉向け旅行商品の販売を積極的に行う、未だかつてない観光客集客の取り組みである。佐倉市もこの機会を利用して、全国に最大限PRしない手はないと考


える。交通機関や宿泊施設、各団体への呼びかけ等市の取り組みを伺う。」
答「キャンペーンに向けてJR佐倉駅長をはじめ、観光協会、商工会議所、地元商店主等協力のもと、おもてなし事業・各施設間アクセス等、交通手段等について打ち合わせを行っている。京成佐倉駅前観光案内所・JR佐倉駅前観光情報センターに手荷物預り所を設け、ポラントイアガイドの協力を得て、国重要文化財の旧堀田家住宅等の歴史的遺産

を案内する予定。この機会に、広報宣伝活動を行うとともに「おもてなしの心」の醸成を図る。」

景観形成の推進

問「佐倉市では、良好な景観形成を市民と共に推進していくため、平成17年に景観条例を制定し、平成17年12月景観行政団体となったと聞きました。景観計画の具体的なスケジュール、どの地域を重点地区として、どのような「景観」を目指すのか？特に印旛沼を始め、広域的な景観については、県や近隣市町村とも連携した上、将来にわたりより良い景観形成に努めていくべきと考える。小田原市の条例等を参考の上佐倉市の取り組みを伺う。」
答「平成19年には、パブ

岡村よしき 後援会より



佐倉市議会議員 岡村よしきは市民の皆様の声に真剣に耳を傾け、いきいきとした住み良いまちづくりに全力でがんばっています。さまざまなご意見・ご要望を、身近なところからお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。暮らしのご相談もお気軽にどうぞ！

岡村よしき 連絡先
043(488)0229 FAX兼用
E-mail okamura@catv296.ne.jp
URL <http://www.e-giin.net/okamura/>

食育の推進

問「昨年度で食育基本法が施行され、本年3月食育推進基本計画をまとめ5年間の具体的な数値目標が示された。食育への関心を高め、朝食欠食を減らし、給食の地産地消を促進し、偏った食生活の見直し、食の乱れによる病気の知識を深め、生活習慣病予防を目指す。「食」は、生きてゆく為の基本であり、最重要の政策課題であると考えている。市の取り組みを伺う。」
答「今年度示される千葉県食育推進基本計画に基づき推進計画を策定する。」

多子世帯・子育て世帯の支援

産前の負担軽減として妊婦健診費14回分無料。②地域におむつを替えたり、授乳できるキッズルームが散在。病児・病後児を預かる保育所機能付きデイケア施設も配備、一時保育や時間単位の一時預かりサービスも整備される。③多子家庭に対する市の奨励金・出産祝い金制度が充実。保護者の精神的・経済的な後押しになった。④結婚相談・紹介の充実による婚姻数の

増加。福井県の婚姻件数は、全国が減少する中237組増え伸び率5.7%で全国1位。⑤不妊治療に力を入れ、国の助成限度額に10万円上乗せ助成。出生率が伸びた背景には、思い切った支援策がとられている。市の少子対策・子育て施策について伺う。」
答「佐倉市では、多子家庭の保育料第1子に続き第2子は半額、第3子以降一割負担。乳幼児医療費は、1歳上乗せして4歳まで無料化図った。他の助成等について、国・県の助成費に上乗せ支援策は考えていない。」

問「女性が生涯に産む子どもの数を示す合計特殊出生率が2005年は、全国で1.25と前年を0.04ポイント下回り、過去最低を更新。このままの水準が続くことは、「人口減少」を早め、経済成長の鈍化や社会の活力低下につながるが年金など社会保障制度に与える影響は大きいと考える。唯一、福井県だけが上昇に転じて、1.47と躍進した。主な理由を検証すると①保育所の待機児童はゼロ。第1子に続き第2子の保育費は半額、第三子以降は無料。特に第三子以降、出